

北海道における 外国人材の受入れ 環境について

一選ばれる北海道に向けて

当協会では、2019年度より少子高齢化と人口減少が進む北海道において、さまざまな地域産業を支える外国人材が増加している現状を踏まえ、「地方における外国人材の受入れに関する調査研究」に着手しました。

このたび、3年間の成果をとりまとめ“北海道らしい外国人との共生社会の実現に向けたビジョン”を提言するため、2022年2月に報告書を発行し、併せて本研究会メンバーによる公開座談会を開催いたします。

参加費
無料

開催日

2022年**3月15日**(火)
14:00～16:40 (受付 13:30～)

定員

定員 100名 (先着順)

ソーシャルディスタンス確保

注) 会場では、マスクの着用や手指消毒などの新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力をお願いします。

場所

札幌市中央区北2条西7丁目
道民活動センタービル「かでの2.7」8階『820 研修室』

参加方法

必要事項(所属/氏名/E-mail/電話)を明記の上、メール、FAXでお申し込み下さい。

※新型コロナの感染状況により、オンライン開催に変更する場合があります。

主催

(一財)北海道開発協会

プログラム

第一部【活動成果の概要報告】 14:00～15:20

■北海道農業における外国人材の受入れと課題

宮入 隆 (北海学園大学経済学部 教授)

■北海道の水産加工業における外国労働者の受入れの現状と課題

孔 麗 (北海道教育大学函館校 教授)

■コロナ禍における介護人材

佐藤郁夫 (札幌大学 名誉教授)

■北海道とベトナム人材 - 地域での対応と課題 -

湯山英子 (北海道大学大学院経済学研究院
地域経済経営ネットワーク研究センター 共同研究員)

■共生社会の構築に向けて

梶井祥子 (札幌大谷大学社会学部 教授)

第二部【ディスカッション】 15:30～16:40

■今後の外国人材受入れ・共生に関する取組みについて

《問い合わせ先》: (一財)北海道開発協会 開発調査総合研究所

E-mail: kenkyujo@hkk.or.jp / Fax 011-709-5225 / Tel 011-709-5213

URL: <https://www.hkk.or.jp/>

【プロフィール】

宮入 隆氏 北海道大学経済学部教授

2005年北海道大学大学院農学研究所博士後期課程修了。2005年北海道大学科学技術コミュニケーションセンター養成ユニット博士研究員、2008年秋田県立大学助教、2013年より北海学園大学経済学部准教授、2016年同大学教授。博士（農学）。農業経済学、農業市場学、農産物流通論が専門。著書『北海道北部の地域社会—分析と提言』（共著）、『産地再編が示唆するもの』（共著）、『北海道から農協改革を問う』（共著）。論文「ボトムアップ型地域農業振興システムの構築を目指した取り組み：津別町の事例」など著作多数。

孔 麗氏 北海道教育大学函館校教授

2001年北海学園大学大学院経済学研究科博士課程修了。2002年北海学園北見大学商学部専任講師、2005年北海学園大学開発研究所嘱託研究員、2014年より北海道教育大学函館校教授。博士（経済学）。中国経済、アジア経済、国際企業が専門。単著『現代中国経済政策史年表』（日本経済評論社）、共著『国際地域研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』（大学教育出版）、共著『もつと知ろう！わたしたちの隣人—ニューカマー外国人と日本社会』（世界思想社）、論文「アジアNIEsにおける外国人労働者政策と日本への示唆—未熟練労働者の受け入れを中心に」（単著）など著作多数。

佐藤郁夫氏 札幌大学名誉教授

1981年上智大学卒業後、昭和シェル石油、日本エネルギー経済研究所、北海道銀行を経て、1996年から札幌大学。米国のバプソン大学、東京大学等で客員研究員を歴任、2003年から札幌大学経営学部教授。博士（経済学）。2021年10月同大学退職（名誉教授）。社会起業家論、ベンチャー論、観光マーケティング等が専門。国、北海道など各種審議会の公職も多数歴任。『北海道の企業』シリーズ、『観光と北海道経済』（北海道大学出版会）、『拓銀破綻後の北海道経済』（日本経済評論社）、『起業教室』（中央経済社）、北海道開発協会『生活見なおし型観光とブランド形成』、『これからの選択—ソーシャル・キャピタル』など著作多数。

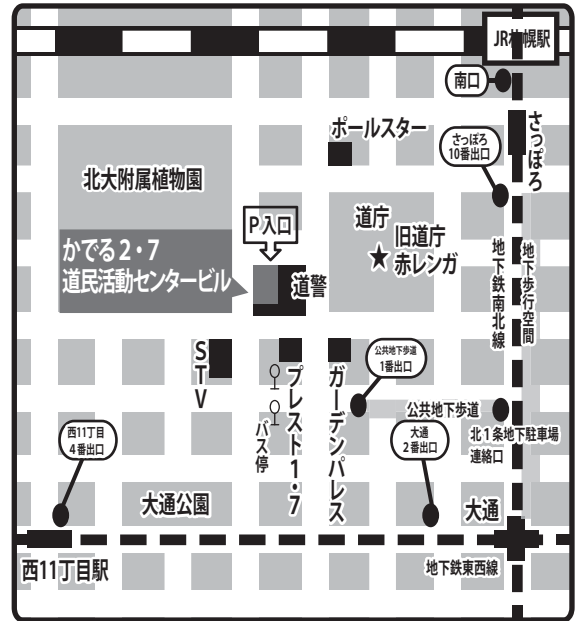
湯山英子氏 北海道大学大学院経済学研究科 地域経済経営ネットワーク研究センター共同研究員

2012年北海道大学大学院経済学研究科博士課程修了。2012～2014年北海道大学大学院経済学研究科助教、2014年より同大学研究員。博士（経済学）。日越経済関係史、移民史が専門。著書『日中両国から見た「満洲開拓」—体験・記憶・証言』（共著）、『第二次世界大戦後のインドシナ・タイ、そして日本・フランスに関する研究蓄積と一次資料の概観』（共著）。論文「仏領インドシナにおける対日漆貿易の展開過程：1910年代～1940年代初めの現地日本人商店からの考察」など著作多数。

梶井祥子氏 北札幌大谷大学社会学部教授（地方における外国人材の受入れに関する研究会座長）

1979年慶応義塾大学法学部政治学科卒業、2003年北海道大学大学院文学研究科人間システム科学専攻修士課程修了。1980年北海道新聞社入社、89年北星学園女子短期大学非常勤講師、2003年北海道武蔵女子短期大学准教授、2010年同大学教授、2013年から札幌大谷大学社会学部教授。専門は社会学、家族社会学。著書『絆—喪失から再生、そして新生へ—』（共著）、『これからの選択—ソーシャル・キャピタル』（共著）、『アンビシャス社会学』（共著）。論文「家族意識の変容過程」「札幌市における包括的若者支援の試み」など。北海道社会教育委員会議長、札幌市子どもの権利委員会委員など公職多数。

【会場案内】



【会場住所】

札幌市中央区北2条西7丁目
道民活動センタービル「かでの2・7」
8階 『820 研修室』

公開座談会 参加申込書

北海道における外国人材の受入れ環境について — 選ばれる北海道に向けて —

送信先

E-mail kenkyujo@hkk.or.jp

FAX 011-709-5225

申込期限

3月14日(月)まで

定員になり次第締め切らせて頂きます。

所属機関	
ふりがな	
氏名	
連絡先	TEL : E-mail :

※お申し込みいただきました氏名等の個人情報は、今回の目的以外では使用いたしません。

※お申し込みは、必要事項を記入してE-mail または FAX でお申し込みください。

※E-mail でお申し込みの方は、必要事項〔希望する参加形態／所属／氏名／電話／E-mail〕を明記の上、上記アドレス宛にお申し込みください。

お問合せ

申込先：(一財)北海道開発協会 開発調査総合研究所
電話：011-709-5213